

いといがわ 議会だより

目次	Contents
委員会報告など	2～4P
一般質問	5～11P
議案の審議結果	12P
議員発議など	13P
次回定例会日程など	14P



鉄道の日記念 SLくろひめ号リニューアル記念式典(10月14日)

第4回定例会を開催 ～8月31日から9月24日まで～

本定例会では、決算認定、条例関係、補正予算などの市長提出議案21件、請願5件、陳情2件、議員発議5件を審議しました。
本定例会における審議結果は、12ページをご覧ください。
また、14人の議員が一般質問を行い、市政を問いただきました。



●..... 議会の動き

- 7月**
- 7日 石川県小松市議会視察来市
 - 10日 議会運営委員会
 - 13日 全員協議会
 - 17日 市議会臨時会
 - 29日 議会運営委員会
- 8月**
- 7日 行財政調査特別委員会
市民厚生常任委員会
 - 24日 議会運営委員会
 - 31日 本会議(初日)

- 9月**
- 3日 議会運営委員会
 - 4日 本会議(一般質問)(7日、8日)
 - 9日 糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会
 - 10日 建設産業常任委員会(11日)
 - 14日 市民厚生常任委員会(15日)
 - 16日 総務文教常任委員会(17日)
 - 23日 議会運営委員会
 - 24日 本会議(最終日)
 - 29日 議会運営委員会

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された議案について、3つの常任委員会で審査し、全て原案どおり可決し、及び認定しました。各常任委員会の審査件数や所管事項調査の項目、主な質疑の内容（本定例会最終日の委員長報告より抜粋）は下記のとおりです。

総務文教常任委員会

条例の制定2件、決算認定4件、補正予算1件、その他1件、請願4件、陳情2件を審査しました。また、「第3次糸魚川市総合計画のアンケートについて」「新型コロナウイルスに関する学校の対応について」の所管事項調査を行いました。

こども消防隊育成事業について (一般会計歳入歳出決算認定)

質疑 こども消防隊の活動の現状と意義はどうか。

答弁 年6回活動しており、各イベントにも参加している。活動内容は、礼式、防火に対する知識、放水体験等を行っている。まずは楽しく学び、将来的には大火の記憶を次世代につなぎ、地域の防災リーダーとして活躍していけるような取組をしている。



こども消防隊

所管事項調査 「新型コロナウイルスに関する学校の対応について」

質疑 秋・冬に向けて、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が予測される。児童生徒のインフルエンザワクチンの接種率はどうか。

答弁 昨年度のシーズンで接種率約60%となっている。

建設産業常任委員会

条例の制定1件、決算認定5件、補正予算1件、請願1件を審査しました。また、「新型コロナウイルス感染症による市内経済への影響について」の所管事項調査を行いました。

プレミアム付商品券発行事業 (一般会計歳入歳出決算認定)

質疑 プレミアム付商品券発行についてどう考えるか。

答弁 第1弾に実施したプレミアム商品券は6月から8月まで実施し、3万冊を完売した。換金の状況から、住宅・家電・自動車に多くの利用がされている。市内経済は予断を許さない状況が続いているため、今回、12月から来年3月までの利用期間で、過去最大規模の5万冊を発行する。早い段階から周知し、計画的に大口の消費につながるよう工夫したい。

高速バス確保対策事業について (一般会計歳入歳出決算認定)

質疑 高速バスのラッピング広告の成果はどうか。

答弁 令和元年7月から9か月間ラッピングして運行した。乗車人員に直接つながったかは、数字的に把握はできないが、新潟方面からラッピングのデザインに対して問い合わせがあるなど、一定のアピールができたと思っている。



高速バス

市民厚生常任委員会

決算認定5件、補正予算4件を審査しました。また、「新型コロナウイルス感染症対策について」の所管事項調査を行いました。

ビーチホールまがたまの管理について (一般会計歳入歳出決算認定)

質疑 ビーチホールまがたまで大規模な施設修繕が実施されているが、今後、施設の管理運営をどのように進めていくのか。

答弁 管理運営を委託している社会福祉協議会与協議しながら、施設全体の修繕や大規模改修は市が行っていく。

所管事項調査 「新型コロナウイルス感染症対策について」

質疑 インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の症状が似ていることで、症状の第一段階でどうすればいいのか。すぐに病院へ行ってはいけないという警戒心を市民が持つことに対し、どんな対策を考えているか。

答弁 基本的には電話で主治医に相談するか、帰国者・接触者相談センターに相談することとなっている。市では、正しい受診行動・感染予防ができるように市民周知をしていきたい。



閉会中の所管事項調査

市民厚生常任委員会

新型コロナウイルス感染症対策について (8月7日)

質疑 介護施設での感染症対策では職員の感染不安が強いと思うことから、職員と利用者の感染者対応マニュアルやフローチャートの作成、また指導助言などの具体的対策はできているか。

答弁 各施設では施設内で発生した場合のシミュレーションは机上での取組を繰り返し経験して、実際に起きた時に備えている。また保健所が感染症対策講習会の開催に向けて準備を進めている。

常任委員会が、定例会の会期以外に行う調査です。主な質疑の内容(本定例会初日の委員長報告より抜粋)は下記のとおりです。

質疑 地域外来・検査センターは保健所が対応するといっても市民は市の対応に注目している。県外企業の社員の多くが市内に来ている状況は、市民からも不安の声が上がっている。この状況にあって市独自でPCR検査の強化を打ち出していく危機感を持たなかったのか。

答弁 感染拡大への危機感を強く持って対応してきた。PCR検査を市が実施していくことは検討していないが、地域外来・検査センター設置に向けて保健所と協力しながら開設を早めるとともに、携わる医師の安全態勢を確保するために連携してきた。

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

7月10日

- ◎第3回市議会臨時会の会期及び日程について
- ◎議会運営について

7月29日

- ◎議会運営について

8月24日

- ◎第4回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎請願・陳情の付託について
- ◎委員長報告について
- ◎決算審査の進め方について
- ◎令和元年度議会費の決算について
- ◎議会運営について

9月3日

- ◎議会運営について

9月23日

- ◎追加議案について
- ◎委員長報告について
- ◎議員発議について
- ◎閉会中の継続調査の申出について
- ◎12月定例会の会期及び日程(予定)について
- ◎議会運営について

9月29日

- ◎議会運営について

特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

行財政調査特別委員会

8月7日

- ◎糸魚川市財政の調査について
- ◎少子高齢化と人口減少下の行財政運営について
- ◎既設インフラ維持に係る経費と新しい投資について

糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会

9月9日

- ◎糸魚川市駅北復興まちづくり計画について

全員協議会

当市において、新型コロナウイルス感染症患者が発生したことから、7月13日に全員協議会を開催し、市から状況説明を受け、質疑をする中で情報共有を行いました。

主な説明項目

- ◎感染症患者の概要
- ◎対策本部体制
- ◎県・市の動向
- ◎今後の対応



全員協議会の様子

中間報告

本定例会最終日、糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会の2回目の中間報告が行われました。概要は次のとおりです。

糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会(中間報告概要)

令和元年5月21日に設置された本特別委員会は、「糸魚川市駅北復興まちづくり計画について」、「市民・関係団体との連携について」の2点を付議事件とし、令和元年12月定例会最終日に中間報告を行っており、それ以降に開催した委員会における調査を報告する。

1月16日の委員会では、糸魚川市駅北復興まちづくり計画の進捗について調査を行った。

3月6日の委員会では、被災者関係者説明会について、駅北広場「キターレ」の整備について調査を行い、駅北広場「キターレ」の現地調査も行った。

3月6日に糸魚川本町通り商店街振興組合と糸魚川地区公民館で委員会協議会を開催し、雁木の街並みとまち歩きについて、にぎわいの拠点に欲しい機能についてをテーマに委員8名、委員外議員2名、理事長ほか組合員7名と懇談を行った。

6月30日の委員会では、糸魚川市駅北復興まちづくり計画について、市民・関係団体との連携について調査を行った。駅北復興まちづくり計画については、計画の各プロジェクトの進捗について、策定中の駅北まちづくり戦略について調査を行った。市民・関係団体との連携については、被災4地区区長との打合せは、今まで継続的に実施してきたが、今年度は4月に工事説明会という形の中で要望や意見の聞き取りを行っているという説明がされた。

9月9日の委員会では、駅北まちづくり戦略の策定について調査を行い、行政から、本日示す戦略は素案の段階であり、特別委員会の意見を受けた修正案を最終案として、次回の駅北まちづくり会議に提示していきたいという説明がされた。

女性の意見を聴く会

～ きらっと輝く いきいき糸魚川 ～

市民の皆さんに市政への関心を深めていただき、女性の視点を生かしたまちづくりを推進することを目的に、「女性の意見を聴く会」を開催します。

参加者を募集した結果、7名の皆さんから参加いただくことになりました。

傍聴席は自由に出入りできます。議場で発言される皆さんの姿をぜひご覧ください。

新型コロナウイルス感染防止のため、座席数を制限しています。満席になった場合は、2階会議室でモニターによりご覧いただく予定です。

なお、インターネットによる映像配信は行いません。

と き 令和2年
11月11日(水曜日) 13時30分から

ところ 市役所 議場
※傍聴席入口は7階

内 容 市政に対する質問や提案を発言いただき、市長や担当部課長が回答します。発言時間は1人15分までです。

発言順	参加者
1	和田 富枝美さん (青海地域)
2	伊藤 麗さん (能生地域)
3	斉藤 富貴子さん (青海地域)
4	田原 洋子さん (糸魚川地域)
5	川合 真生さん (能生地域)
6	荻原 恵子さん (糸魚川地域)
7	大島 昌枝さん (糸魚川地域)

※QRコードをスマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継を視聴できます。



田原 実 議員



質問

新型コロナウイルス感染症対応 地域医療フォーラムの成果と 今後の地域医療体制について

- (1) 8月23日に市が主催した地域医療フォーラム「新型コロナウイルスとの共生」、その目的と成果について伺う。
- (2) 糸魚川総合病院での新型コロナウイルス感染症診療対応、感染症拡大防止策について伺う。
- (3) 介護老人保健施設「なでしこ」の事業終了と新型コロナウイルス感染症の関連について伺う。

▼市長答弁

- (1) ウイルスの特性や、今後我々が実践しなければならないことについて、市民周知を図る目的で開催した。当日は200人の参加者があり、新型コロナウイルスについて、正しい理解を広められたものと捉えている。
- (2) 新型コロナウイルス感染の疑いのある患者に対しては、待合室を分けるなど、院内の感染対策チームを中心に取組を進めている。
- (3) 厚生連からは新型コロナウイルス感染症との関連性はないと伺っている。

質問

糸魚川市が推進する「売れる農業」 について

- (1) 「地域農業のこれからを考える会」を開催し、地域農業の将来について一緒に考えてみませんかと生産者や地域に投げ掛けをしたが、糸魚川市に「売れる農業」を目的にしていく視点・論点があったのか伺う。
- (2) 糸魚川市の質の高い特産品としては米があるが、ナスや枝豆などもブランド化することが必要ではないか伺う。
- (3) 「売れる農業」の実現に向けて、作り手から売り手まで切れ目なくつながっていき、利益を上げていくことが必要である。マーケティングやマネジメントをどのようにしているか伺う。

▼市長答弁

- (1) 今年度は人・農地プランの推進強化を目的として開催したところである。
- (2) 既に越の丸茄子は全国に通用するブランドとして確立しているが、他の作物についても検証をしながら検討していく。
- (3) JAや生産者の意向を確認しながら、今後も関係機関と連携し対応していく。

その他の質問項目

- 「えちご押しひすい海岸物語」、新駅周辺まちづくりについて
- 若い人たちへの行政情報伝達などにアニメを活かすことについて

- (4) 現時点では海外の観光客は来られない状況であるが、新型コロナウイルス感染症の収束後に向けて、受入れの準備を進めていきたいと考えている。

質問

糸魚川市公共施設等総合管理指針 の基本方針について

- (1) 現在ある公共施設の地域の便利さ及び利活用をどのように考えるか伺う。
- (2) 今後、公共施設は、大規模改修、建て替えを迎えるが、整備計画はどうか伺う。
- (3) 当市の長期財政見通しでは、公共施設等の数量をこのまま維持していくことは困難ではないか。現状や課題について伺う。

▼市長答弁

- (1) それぞれの施設の設置目的が十分に果たされるよう利活用を図っていく。
- (2) 施設の必要性を検討する中で予防保全と長寿命化に取り組んでいく。
- (3) 保有する施設面積が過大であり、老朽化対策や更新費用が膨大になると認識しており、公共施設等総合管理指針に基づき計画的に管理していく。

その他の質問項目

- 市役所本庁舎への爆破予告について



吉川 慶一 議員



質問

新型コロナウイルスの感染による 市内の観光に及ぼす影響について

- (1) コロナ禍によって、市内観光客が減少していると聞きますが、昨年と比べて、経済への影響はどのように変わったか伺う。
- (2) 周辺地域及び市内の各イベント等の中止・延期により及ぼした影響と今後の対応を伺う。
- (3) 糸魚川元気応援券を利用して、市内経済の底上げができたか。今後も消費を後押しする計画はあるか伺う。
- (4) インバウンドを利用した企画での、観光地と観光客の見込みはどうか。また、今後の対応について伺う。

▼市長答弁

- (1) 特に宿泊施設や飲食店など、観光に関係する業種で大きな影響が出ている。
- (2) 飲食店を始め、幅広い業種に影響が出ているところであり、今後、国、県の動向を踏まえ、段階的に実施していく必要があると考えている。
- (3) 元気応援券により1億5千万円を超える額が市内の飲食店等で消費され、一定の効果があるものと考えている。引き続き、地域経済の回復に向けて、第2弾のプレミアム付商品券に取り組む予定にしている。



山本 剛 議員



質問

豪雨時、車を一時避難場所として使用する案について

長野県では、車で避難場所を地図で公表したという記事が報道されている。この避難方法なら、他人に気を遣うことなく避難できると、多くの市民からの声を聞いた。エコノミークラス症候群や交通渋滞等、多くの問題点はあると思われるが、検討する価値は十分にあると思う。市として、どのように考えるか伺う。

市長答弁

分散避難や避難者のプライバシー確保の観点から、車中避難も有効な手段と考えている。
車中避難が可能な一時避難場所の選定、エコノミークラス症候群や交通渋滞などの課題のほか、豪雨の中での移動によるリスクについても十分踏まえ、車中避難の取扱いについて検討を進めている。

質問

こどもフリーパスの利用状況と高校生への拡大について

- (1) 市内で運行されている路線バスの状況について伺う。
①市内の路線バス1台当たりの乗車人数はどの程度か。

- ②糸魚川バス株式会社への運行費補助金額はどうか。
(2) 現在のこどもフリーパスの利用人数、利用者はどの地区が多いのか伺う。

市長答弁

- (1) ①令和元年度の乗降調査によると、平日のバス1便当たりの乗車人数は平均9人となっている。
②令和元年度決算額で約1億4千万円となっているが、県の補助金や特別交付税で約1億2千万円が措置されている。
(2) 令和元年度では延べ313人の児童生徒が利用しており、東中学校が一番多く、延べ154人の利用となっている。

質問

コロナ禍及び猛暑における児童生徒の状況について

- (1) コロナ禍と猛暑で例年とは大きく違った夏休みであったと思う。児童生徒の生活態度等に大きな変化があったか伺う。
(2) 昨年、市内小中学校の普通教室にエアコンが設置された。エアコン使用基準、現状の運用状況と設置による効果等を伺う。

教育長答弁

- (1) 夏季休業中、大きな事故や非行等の報告はなく、2学期が順調にスタートしている。
(2) エアコンの使用基準は28℃以上としているが、湿度等も加味しながら各校で適切に運用している。

その他の質問項目

- 夏休み期間中の市公共施設の運営について



保坂 悟 議員



質問

コロナ禍における子育て支援について

- (1) 新生児特別定額給付金(1人10万円)事業の実施について
国から、第2次補正予算で増額した地方創生臨時交付金について、自治体が独自で行う新生児への給付金に活用できる旨の通知があった。コロナ禍で子育てを行う保護者に給付する考えはあるか。
(2) ひとり親世帯でコロナ感染した場合の支援について
①働くことができなくなり所得を得られない場合の支援はあるか。
②感染していない子どもの面倒を見る支援はあるか。
③感染した保護者の身の回りの生活支援はあるか。

- (3) 子どもの定期予防接種の状況について
コロナ禍により医療機関に行くことをためらう保護者が3割程度いるという報道が以前あったが、市内の予防接種率はどうなっているか。

- (4) コロナ禍におけるインフルエンザ対策の強化について
子ども及び妊婦のインフルエンザ予防接種費用助成について、コロナ禍のため収束するまで全額無償化で対応する考えはあるか。

また、市内全体のまん延防止のため高齢者の接種費用補助があるが、市独自に接種を促すため、補助対象や補助額を拡充する考えはあるか。

市長答弁

- (1) 現時点で給付の予定はない。
(2) ①緊急小口資金の貸付などセーフティネットの活用により支援していく。
②親族等による支援が受けられない場合は、児童相談所での保護も可能である。
③感染時には入院することとなっている。
(3) 昨年度と比較して接種率は上昇している。
(4) 市独自の補助拡充は考えていないが、引き続き接種率の向上に努めていく。

質問

「子育てするなら糸魚川」と呼ばれる子どものためのまちづくりについて

- (1) 市内の子どもスキー教室の成果を分析しているか。
(2) 中学生海外派遣事業における、英語検定とジオパーク検定の成果を分析しているか。また、事業参加者の進路調査を行っているか。
(3) キャリア教育における中学生職場体験事業と、高校生を核とした地域人材育成事業の成果を分析しているか。

教育長答弁

各事業の内容に応じ、事業の評価を行っており、子育てしやすいまちとして、広報やSNS等を活用し、更なる情報発信に努めていく。

その他の質問項目

- 動物愛護の取組について
○市施設の点検と改修について
○デジタル社会の推進について
○市の観光・レジャー施設等の成果と分析について



佐藤 孝
議員



質問

新型コロナウイルス感染症対策
について

- (1) 特別定額給付金について
 - ①特別定額給付金について、給付者数、給付率はどうなっているか伺う。
 - ②特別定額給付金を申請しなかった人について、その理由の把握はされているか伺う。
 - ③特別定額給付金のオンライン申請の状況については、どうであったか伺う。
- (2) ひとり親世帯臨時特別給付金について
令和2年6月分の児童扶養手当の受給者については、申請が不要で口座に振り込まれることになっているが、それ以外の対象者については申請が必要とされている。申請書による給付申請数及び追加申請数は、どのような状況か伺う。
- (3) 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言や自粛による市内への影響について
売上げ減少や将来を危ぶんでの廃業等は、どうなっているか伺う。また、失業者の増加、生活保護申請の増加といった傾向は、表れていないか伺う。
- (4) 新しい生活様式について
「新しい生活様式」は、国が国民に求めるだけの5項目となっている。糸魚川市では感染者数が最低限に

抑え込まれた状態であるが、国内の大都市圏や外国では収束はなかなか見えてこない。以下伺う。

①視覚障害者や聴覚障害者にとっては、マスク着用によって声がかぐもり、また口元が見えず、言葉の判断がしにくくなる。表情も読めず、コミュニケーションが難しくなる。ましてや、人との間隔は最低1mと言われている。新しい生活様式を進めるに当たり、高齢者や障害者のコミュニケーション対策を考えているか伺う。

②国連は、自然破壊や気候変動と新型感染症発生の関係について警告している。気候変動による大規模災害の連続と新型コロナウイルス感染症等が連動しているとすると、座して観ている訳にはいかない。SDGsの17の目標達成を喫緊の課題として取り組むべきと思うがいかがか。

▼市長答弁

- (1) ①給付世帯数は17,321世帯、給付者数は41,768人、給付率は99.8%となっている。
 - ②把握していない。
 - ③266件の申請があった。
- (2) 申請書による基本給付は21件、追加給付は76件である。
- (3) 今のところ廃業や失業、生活保護申請の増加傾向は表れていない。
- (4) ①障害者理解促進事業において、透明マスク等の購入が助成対象となっている。
 - ②市の業務全般がSDGsの取組につながるものだと考えており、世界全体で取り組むことが重要だと考えている。

一般質問



笠原 幸江
議員



質問

糸魚川ジオステーション ジオパルの
現状と課題と今後について

- (1) 開設当時のコンセプトは、どのようになっているか。
- (2) 待合室としての現状に問題はないか。
- (3) ジオラマ鉄道模型ステーションの利用度の分析をされているか。
- (4) 管理運営は、現在どのような形態となっているか。今後、ジオラマ鉄道模型ステーションを独立して管理運営されたらと考えるがいかがか。
- (5) 市民から利用済みになったプラレールの寄附を、開設当時にされている。このプラレールを有効活用するための現状はどうなっているか。また、今後の企画を考えているか。

▼市長答弁

- (1) 糸魚川ジオパークを始めとする本市の魅力の発信と、市民、来訪者及び観光客の交流促進を目的として設置している。
- (2) ジオパルは糸魚川駅の待合室の一つとして機能しており、特に大きな問題はないと考えている。
- (3) 毎月利用状況の報告を頂いているほか、随時利用者へ聞き取りを行っており、誘客宣伝や運営に活用している。
- (4) 現在、ジオパルの管理を観光協会に委託しており、全体で人員を調整できることなどから、独立した運営は考えていない。
- (5) ジオパル内での展示やイベントで活用しており、今

後、関係者等から意見を頂く中で、新たな企画を検討していく。

質問

市内いつでもどこでも
安全・安心なおいしい水について

- (1) 平成18年当時、経年管(石綿管)使用延長、糸魚川上水道7.8km、能生上水道2.3km、西海簡易水道3.8kmについて、約10年間程度かけて交換と聞いているが、完了しているか。
- (2) 水質基準項目は51あるが、項目以外の水質検査は進んでいるか。特に水のおいしさに関する基準は7項目あるが、その中の遊離炭酸の検査をその後されているか。
- (3) 中山間地に散在する組合水道の公営化の進捗状況は、どうなっているか。
- (4) 毎年6月1日に水道週間を掲げている。市民に引き続き周知すると考えるが、周知方法の工夫改善点はどうか。

▼市長答弁

- (1) 能生上水道、西海簡易水道は、平成23年度に石綿管の入替えが完了し、糸魚川上水道は、今年度の工事により、全ての入替えが完了する。
- (2) 農薬類、ダイオキシン類、放射性物質の検査など、水質管理の強化に努めており、遊離炭酸の検査も、毎年実施している。
- (3) 平成17年度から公営化の整備を順次進め、今年度の根知地区を最後に、計画している公営化は完了する。
- (4) ポスター掲示や、懸垂幕により周知しているほか、小学生の施設見学や、ガス水道フェアにおいて啓発活動を行っている。

その他の質問項目

○資源循環型社会の推進について



田中 立一
議員



質問

新型コロナウイルス感染症による影響と対応について

- (1) 経済、雇用への影響について
 - ①市内事業所における、新型コロナウイルス感染症による解雇・雇止め状況と雇用調整助成金の活用について伺う。
 - ②テレワーク導入・実施の状況と、今後の普及に対する支援についての考えを伺う。
- (2) 災害時の避難所運営について

台風シーズンを迎え、豪雨など自然災害に対し、コロナ禍での避難所設置・運営について「3密」の回避や検温など、対策についての考えを伺う。
- (3) コロナ禍における文化・芸術振興について

「新潟県文化祭2020」が開幕した。市ではどのように参画を考えているか伺う。

市長答弁

- (1) ①8月28日現在、解雇・雇止めが数件、雇用調整助成金が88社212件、緊急雇用安定助成金が43社105件の申請と聞いている。
 ②市内でも実施企業があり、今後も普及する見込みであることから、国の支援制度の活用を推奨していく。
- (2) 避難スペースでの間隔確保や発熱者等の専用スペースの設置などを適切に行えるよう取り組んでいく。

- (3) 新潟県文化祭2020を通じて、多くの方から文化・芸術に触れていただけるよう努めていく。

質問

糸魚川市の農業について

- (1) 2020年産米について

7月は雨が多く、記録的な日照不足となり、8月は残暑厳しく、高温による米の劣化が心配されるが、情報の把握と対策について伺う。
 また県とJAは、新型コロナウイルス感染症の影響で主食用米の需要減少が見込まれ、価格下落の危機感から「田んぼ一枚転換運動」を推進したが、市内生産者の取組について考えを伺う。
- (2) 県の中山間地モデル事業について

県では、経営環境に不利な中山間地に対し、所得保障を定額で助成するモデル事業を行い、市内では徳合地区が第1期のモデル地区に選定され、今年の3月で助成期間が終了した。本事業の検証と今後について、どのように考えているか伺う。

市長答弁

- (1) 農業情報メールでフェーン現象の予測など、気象や栽培管理情報を提供している。
 また、「田んぼ一枚転換運動」については、需要が減少している酒米生産者を中心に取り組む予定としている。
- (2) 地区が一体となって活動することなど、一定の成果につながったと考えている。

その他の質問項目

- 空き家対策について
- 動物愛護の取組への支援について



新保 峰孝
議員



質問

新型コロナウイルス等感染症対策と地域医療の充実について

- (1) 糸魚川市における新型コロナウイルス感染症の影響をどのように捉え、検査体制、医療体制、経済対策等、どのように対応してきたか。
 - ①医療機関、福祉施設、学校関係者、企業、飲食店等、集団感染しやすい事業者への影響、働く人々への影響をどのように把握しているか。感染状況と連携した対応はどのようにしたか。
 - ②相談体制、PCR等検査体制、隔離・保護施設の確保、入院・病床確保等の医療体制、保健所と開業医・病院との連携、各事業者の対応は、どのようにしたか。
- (2) 今後、秋・冬のインフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時流行することも考えた感染症対策が問われることになるが、どのように対応する考えか。
 - ①保健所の相談体制とPCR等検査体制、発熱外来の設置等での関係者間の連携、隔離・保護施設の確保、入院・病床確保等については、どのようなやり方で進める考えか。
 - ②半年経過後の市内経済の現況をどのように捉えているか。経済対策の強化も必要になってくるのではないか。また、学生支援のような市独自の支援策の強化も検討すべきではないか。

市長答弁

- (1) ①集団感染を起こさないため、福祉施設・学校・宿

- 泊施設などを対象に、保健所から指導を頂いている。
 ②保健所を中心に、医師会と連携し、体制づくりを進めている。
- (2) ①保健所を中心に基本的な対応策を継続しながら、インフルエンザの流行に備えて対応していく。
 ②厳しい状況が続いていると認識しており、今後も状況に応じて経済対策を行っていく。

質問

産業振興について

- (1) 市内産業の推移についてどのように捉え、どのような振興策をとっているか。
 - ①就業人口や市内総生産実額において農業の落ち込みが激しい。農業、林業の衰退は、中山間地域の水田、畑、山林等の維持管理に直結し、災害防止の面からも大きな影響がある。農業の担い手不足が顕在化している中で、中山間地域の資源を生かした取組強化が求められているのではないか。
 - ②漁業の就業人口は減っているが、海洋資源を生かした取組は、糸魚川市の特色を生かした取組となる。6次産業化方式を更に研究強化すべきではないか。

市長答弁

- (1) ①今年度から中山間地域等直接支払制度に設けられた新たな棚田の地域資源を生かした取組について周知していく。
 ②加工、販売する事業形態を参考に、漁業者と連携して取り組んでいきたいと考えている。

その他の質問項目

- 子ども医療費助成について



高澤 公 議員



質問

市職員の各種資格取得状況について

- (1) 市は、資格試験受験料補助金制度事業で、資格取得者の支援をしているが、助成申込者の中に消防職員のほかに市役所職員はいない。一般職員は対象外なのか、又は向上心を持った職員が少ないのか。
- (2) 働き方改革が言われてから久しいものがあるが、定年退職後の第2の人生が一番楽しいと説く本も出てくるくらいである。有意義な人生後半を過ごすための方法として、資格取得も大事なことと思われるが、市の考え方を伺う。
- (3) 市職員のスキルアップの方法として、各種資格試験の取得は最適なものと思われるが、職員の意識高揚に対して、どのように対応してきたか伺う。
- (4) 難関の国家資格への挑戦は1回でクリアできるものとは限らない。現在の制度では同一試験で何回まで利用できるのか。同時に補助金はどうなるのか。
- (5) 市のほぼ全ての事業で外部委託をしている。指定管理や調査、統計、設計、測量など幅広い分野で外部事業者への委託をしているが、職員の中にそれら職種の専門資格を持っている人の有無によって、費用も変わってくると思う。資格取得は職員個人のためばかりでは

なく、市の経費節減のためにも大いに役立つと思うが、いかがか。

- (6) 現在は人生100年と言われ始め、実際に80歳を過ぎてても元気で働いている人を見掛ける。見掛けるというよりも普通の現象となっている。冒頭にも言ったが、第2の人生のほうが目白押しともいわれる。資格を持っていることは、第2の人生の選択肢を広げる意味もある。市長以下部長以上の職員は、一般職員の定年後にまで目を配る必要があるのではないかと思うが、いかがか。

▼市長答弁

- (1) 市の職員であっても補助の対象となっており、昨年度の職員の利用は4件である。
- (2) 退職後の人生において選択肢を広げることにつながると認識している。
- (3) 働く上でのスキルアップの一つになるものと理解しており、職員には各種助成制度の活用について周知していく。
- (4) 資格試験受験料補助制度では、5年間で3回まで申請可能で、補助率は1回目が7/10、2回目以降は5/10となっている。
- (5) 資格を取得することにより、経費節減に有効なものがあると思われるので、検討していく。
- (6) 資格があることにより、退職後の選択肢を広げることになっているので、職員には今後も各種助成制度の周知をしていく。



五十嵐健一郎 議員



質問

第2期「糸魚川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」等について

- (1) 少子化対策について
 - ①本気の子育て支援と「ワンランク上の」移住定住施策の考えはあるか伺う。
 - ②婚活・仕事支援制度の充実の考えはあるか伺う。
 - ③財源確保対策及び民間提案制度の導入の考えはあるか伺う。
- (2) 糸魚川ブランドの創出について
 - ①公民連携及び大学連携の取組についての考えはあるか伺う。
 - ②マーケティング支援策と産業支援センター(糸ビス)の設置に向けた調査研究の考えはあるか伺う。
 - ③水の研究とCCRの実現に向けた取組及びマイスター制度の進捗状況は、どうなったか伺う。
- (3) 働き方改革について

チャットツールの活用及び人事評価制度の整備の考えはあるか伺う。
- (4) 健康福祉対策について
 - ①地域ポイント制度及び地域通貨の導入の考えはあるか伺う。
 - ②介護人材の育成・確保とAIの活用についての考えはあるか伺う。
 - ③ヘルスケアの推進と高齢者の見守りの考えはあるか伺う。
 - ④節薬バッグ運動の考えはあるか伺う。

▼市長答弁

- (1) 子育て世帯への各種支援やUターンに対する住宅支援を進めるとともにテレワークの推進による多様な働き方への対応などを行っているところでもあり、ふるさと納税等の自主財源の確保にも努めていく。
- (2) ①糸魚川産業創造プラットフォームを始め、民間と行政等支援機関の連携による糸魚川独自の付加価値の創出が進められてきており、引き続き海洋高校の取組を支援するほか、高等教育機関とも連携を進めていきたいと考えている。
 - ②マーケティング等の支援については、NICOや商工会議所・商工会の経営指導員が担っており、新たな産業支援機能については、糸魚川産業創造プラットフォームの取組を進める中で、検討していく。
 - ③大学や首都圏の自治体との話し合いを始めたところだが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、状況を見ながら取り組んでいく。
- (3) 自治体専用のビジネスチャットを試験的に導入したところである。人事評価制度については、先進地の状況を確認しながら、見直していく。
- (4) ①健康づくり事業等への参加に対し、ポイントを付与する健康ポイントラリーを実施している。
 - ②介護人材育成支援事業や修学資金貸与事業等により人材の育成と確保を行っており、AIの活用については、今後、先進事例等を研究していく。
 - ③「健康いといがわ21」に基づき、健康寿命の延伸に取り組んでおり、高齢者の見守りについては、安否確認事業や緊急通報装置貸与事業などにより実施している。
 - ④市内の薬局においても残薬回収が実施されている。



松尾 徹郎
議員



質問

市政運営について

今年の3月に発表された本市の長期財政見通しでは、予算規模は年々縮小傾向になり、施設整備関連予算、すなわち投資的予算は年々減少し、地域経済に与えるマイナス影響も大きいと考える。

また、借入返済額においては、中長期的に見てほとんど変わらないため、一般会計に占める返済金額の割合は年々高くなってきている。そのため、自由に使える予算が縮小傾向にあり、今後、地方交付税交付金や補助金の減額も考えられるだけに、行政改革を積極的に推進し、財源確保を図らなければならない。

かつてのように公共投資を中心とした地域振興策や自治体経営が厳しさを増す中、少しでも行革を進めながら、受益者負担の適正化、不要財産の有効活用など、財源の捻出を図る必要がある。これまでの延長線上で事業を進めていくことにより、10年先、20年先には大きなずれが生ずる可能性もある。したがって、将来を見越し、人口減少時代に対応できるよう「簡素で、効率的で賢い自治体」を目指すべきだと考える。

そこで何う。

- (1) 今年の3月に「糸魚川市長期財政見通し」及び「行政改革実施計画」が発表された。新型コロナウイルス感染症対策費や緊急経済対策費などにより、国の財政状況が厳しさを増す中、財政支援を受けている本市にとっては、今後、交付金や補助金などの減額も考えられる。長期財政見通しも含め、新年度以降の予算編成について、どのように捉えているか何う。
- (2) 「行政改革実施計画」では、効率的かつ効果的な行政運営を心掛け、職員への周知徹底及び意識改革を図り、行政改革を推進しなければならないと記されている。財源を捻出するために、どのような行政改革を推進しようとするのか、具体的に何う。
- (3) 実施されている事業で、見直し・廃止・拡充予定等、新規事業を含め検討を重ねている事業があると思う。現状について何う。

▼市長答弁

- (1) 国の骨太の方針や今後示される地方財政計画、また県の動向も注視する中で、今後の予算編成及び長期財政見通しの見直しに取り組んでいく。
- (2) 6つの推進項目に基づき、具体的に18の取組項目を定め、成果目標を設定し進めており、事務の効率化や各種事業の民間委託など、社会変化に対応した取組を行っている。
- (3) 毎年、事務事業評価を実施し、実施計画を策定する段階で事業の見直しや拡充、新規事業などの検討を行っている。



東野 恭行
議員



質問

コロナ禍における地域経済の見通しについて

- (1) コロナ禍の影響を踏まえ、今後の地域経済の見通しと対応策を何う。
- (2) 経営相談窓口の利用状況を何う。
- (3) 好評であった「糸魚川元気応援券発行事業」と「出身大学生等応援事業」について、内容の再考も含め、コロナ禍の状況に応じた検討をするか何う。
- (4) コロナ禍において会社運営・店舗運営が厳しい状況が続く中、地域の中小企業やお店は、事業継続における経営努力をされている。糸魚川市として事業所との関わりについて何う。

▼市長答弁

- (1) 厳しい状況が続くことが予想されることから、国や県の制度も活用し、状況に応じて適切に対応していきたいと考えている。
- (2) 商工会議所、商工会などの相談窓口での相談件数は、約1,200件である。
- (3) 状況に応じて検討していきたいと考えている。
- (4) 9月3日に関係機関による経済対策連絡会議を開催し、情報共有を図っており、今後も関係機関と連携して支援していく。

質問

コロナ禍における糸魚川市内観光への影響について

- (1) 市独自の「糸魚川・今すぐGoToキャンペーン」の効果について何う。
- (2) 令和2年8月現在、GoToトラベル事業の対象に、これまで除外されていた東京発着の旅行が追加される可能性があるが、来市によって新型コロナウイルス感染症拡大への懸念がある中、糸魚川市の医療体制をどのように整備検討していくのか何う。
- (3) コロナ禍により、インバウンド需要が壊滅的であると考えているが、令和2年度一般会計予算の「インバウンド推進事業」の中の糸魚川シーフードシャトルバスの運行について、今年度の開催はどのように考えているか、何う。

▼市長答弁

- (1) GoToトラベルが本格実施されるまでの旅行需要の早期回復と観光消費喚起の緊急対策として、一定の効果があつたものと考えている。
- (2) 市内で感染が拡大した場合には、軽症者は糸魚川総合病院に入院することから、院内感染を防止するための設備について支援することになっている。
- (3) 今年度は、白馬エリアの観光客や宿泊施設経営者を対象として運行を計画している。

その他の質問項目

- コロナ禍における糸魚川市のウェブサイトやSNS活用について
- 糸魚川市駅北復興まちづくり計画について



古川 昇
議員



質問

介護保険事業について

- (1) 2018年以後、自立支援・重度化防止の取組で実績と結果の評価が重視され、報酬加算や評価加算が付いた。自立支援の介護サービスに対する実績結果を、どのような指標で評価してきたのか伺う。
- (2) コロナ禍にあって介護施設や障害福祉事業所では、人材確保施策をどう進めているか、実態・課題を伺う。
- (3) 介護老人保健施設、小規模多機能型居宅介護施設の閉鎖の実情と、市全体の介護事業への影響と課題について、行政の捉え方を伺う。
- (4) 高齢者の新型コロナウイルス感染予防や自粛による介護予防や健康教室・地域コミュニティ活動への影響と、今後の活動推進について伺う。

▼市長答弁

- (1) 利用者の日常生活動作の維持や改善に対して評価して、加算する仕組みとなっている。
- (2) 法人内での職員応援体制をとっており、重大な事態が発生した場合には、法人の枠を越えた職員の確保等が課題になると考えている。
- (3) 職員の不足が主な要因となっており、入所定員数も

多いことから、同等のサービス確保が課題になると考えている。

- (4) 感染症対策を講じた教室等の開催や、自宅で取り組める体操の周知など運動習慣の定着を進めていく。

質問

障害者支援について

- (1) 糸魚川市移動等円滑化促進方針推進協議会による、移動に係る動線の実態調査が行われたと聞いた。点字ブロックの補修や敷設、横断歩道など新たな整備箇所の課題が確認されたのか、行政の認識を伺う。
- (2) 重度身障者の外出移動支援について、福祉タクシー券の支給額の検討では、来年度改定の可能性はあるか、伺う。
- (3) 読書バリアフリー法が制定され、図書館整備が推進されている。図書館内に据置き型拡大読書器を設置する検討をしているか伺う。
- (4) 特別支援学校の一般就労支援や福祉作業所での実習等について、新型コロナウイルス感染予防対策の影響はどうか。

▼市長答弁

- (1) 点字ブロックの劣化など、様々な課題を確認できたので、策定中の計画へ反映するとともに、緊急性のある個所については早期に対応していく。
- (2) 今年度助成額の増額を行ったが、今後も改定を検討していく。
- (3) 今年度、市民図書館に1台配備する。
- (4) 感染症の影響があったが、9月から受入先との調整を図り実習を行っている。



吉岡 静夫
議員



質問

市議・市長、今任期は2021(令和3)年4月23日まで。これまでの約3年余りを顧みて。

- (1) 二元代表・議会基本条例
「議員・議会」と「市長・行政」は、ともに「二元代表」、「双方、互いに監視・チェックしあいながら」を最大の目的・責務として、その根っこに据えている。
ところが、現実はどうか。私に言わせれば大きな問題を抱えていると言わざるを得ない。
誰が「市長」であろうか、誰が「議員」であろうか、「立ちどまり、考え直し、行動させてもらう」—それこそが、私たちが作り上げた「議会基本条例」の目指すところ、根っこ。互いに尊重しあおうではないか。
市長の考えを伺う。
- (2) 高齢社会・老老介護
誰もが、生きていく限り年を取り、いずれは必ず「高齢社会」のいわば「主役」、「主人公」的な立ち位置になる。
日頃の足・買物・配りもの・回覧板などへの対応処理、これらどれひとつをとっても、単なる市政による「支援」感覚では対応しきれない。私は、そこに市政による「責務」感覚での対応・位置づけを、確立していかなければならないと、提言し続けている。
市長の考えを伺う。
- (3) 「弱者」をこそその市政に
私が市長に、市役所行政に訴え続けていること。それは、「市民おひとりおひとりこそが行政の主人公・主役。それも、弱ければ弱い人ほど。そんなまちづくり・地域づくりに努めあいましょうよ。それこそが『二元

代表』をもって任ずる私たちの最大の責務」と。

死ぬまで現役ジャーナリストを貫き通した、むのたけじさんにかつて当市にお越しいただいたときの言葉。

「『『老いる』が堂々と歩かなければ、『若さ』はまとも生きていかれない。『老人』、ほんものの『年寄り』をみざそう。なりましようよ—」でした。

市長はいかが受けとめたか。

▼市長答弁

- (1) 議会基本条例については、二元代表の一方として尊重しており、議会の皆様と一緒に様々な行政課題に取り組んでいくことが重要だと考えている。
- (2) 高齢者が健康で生きがいをもち、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、努めている。
- (3) 市民一人一人に寄り添うような行政運営に努めている。

質問

市消防団員の処遇改善・向上策を

火災に限らず、各種災害への対応など、私たちの「暮らし・生きる」を足元で守り・支えてくれるのが消防団員。市内に1,000人からの方々がその任に当たってもらっている。

それらの方々の実務内容から見て、対応や対価はどうなっているか。調べてみる限り、低いと言わざるを得ない。基本的な面からの対応や思い切った是正・改善・向上策をとるべきである。

現状の基本的な見直しからでも手を着け、改善に踏み切るべきときである。

市長の考えを伺う。

▼市長答弁

当市消防団員の年報酬や出動手当は、平成30年度に改正したが、今後も他市の状況を注視し、対応していく。

議案の審議結果

第3回臨時会（7月17日）

番号等	件名	結果
91	令和2年度糸魚川市一般会計補正予算（第6号）	可決

第4回定例会（8月31日～9月24日）

番号等	件名	結果
92	令和元年度糸魚川市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
93	令和元年度糸魚川市有線テレビ事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
94	令和元年度糸魚川市学校給食特別会計歳入歳出決算認定について	認定
95	令和元年度糸魚川市集合支払特別会計歳入歳出決算認定について	認定
96	令和元年度糸魚川市ガス事業会計決算認定及び利益の処分について	認定及び可決
97	令和元年度糸魚川市水道事業会計決算認定及び利益の処分について	認定及び可決
98	令和元年度糸魚川市簡易水道事業会計決算認定について	認定
99	令和元年度糸魚川市下水道事業会計決算認定について	認定
100	令和元年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
101	令和元年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について	認定
102	令和元年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
103	令和元年度糸魚川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
104	子ども・子育て支援法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
105	糸魚川市集会施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
106	財産の取得について（学校教育用コンピュータ）	可決
107	糸魚川市公営企業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
108	令和2年度糸魚川市一般会計補正予算（第7号）	可決
109	令和2年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	可決
110	令和2年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
111	令和2年度糸魚川市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
112	令和2年度糸魚川市一般会計補正予算（第8号）	可決
請願1	新型コロナウイルス感染症対策の強化、少人数学級の実現と教員の抜本的増員を求める意見書の提出に関する請願	不採択
請願2	少人数学級実現に係る意見書の採択を求める請願	不採択
請願3	義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	みなし採択
請願4	種苗法「改定案」の廃案を求める請願	継続審査
請願5	義務教育費国庫負担制度2分の1復元と教職員の負担軽減の実現に関する意見書の採択を求める請願	みなし採択
陳情5	「私学助成の増額を求める意見書」に関する陳情	みなし採択
陳情6	核兵器禁止条約の調印を求める意見書提出に関する陳情	みなし採択
発議5	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決
発議6	義務教育費国庫負担制度2分の1復元と教職員の負担軽減の実現に関する意見書	可決
発議7	私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書（国宛）	可決
発議8	私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書（県宛）	可決
発議9	日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書	可決

議員発議による意見書の提出

議員発議により提出された次の発議を本定例会で可決し、意見書を関係機関に提出しました。

- [発議第5号]** 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
 (提出者) 高澤 公
 (賛成者) 新保 峰孝
 (提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣
-
- [発議第6号]** 義務教育費国庫負担制度2分の1復元と教職員の負担軽減の実現に関する意見書
 (提出者) 笠原 幸江
 (賛成者) 佐藤 孝
 (提出先) 内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣
-
- [発議第7号]** 私立高校の公費(私学助成)増額を求める意見書
 (提出者) 笠原 幸江
 (賛成者) 佐藤 孝
 (提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣
-
- [発議第8号]** 私立高校の公費(私学助成)増額を求める意見書
 (提出者) 笠原 幸江
 (賛成者) 佐藤 孝
 (提出先) 新潟県知事
-
- [発議第9号]** 日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書
 (提出者) 笠原 幸江
 (賛成者) 佐藤 孝
 (提出先) 内閣総理大臣、外務大臣

議員発議とは 議員が議案を提出することを言います。市長が提出する議案と同様に、議会で審議をして採決します。

議員の寄附行為禁止

市議会議員は公職選挙法により、寄附行為等が禁止されています。また、市民の皆様が議員に対して寄附を求めることも禁止されています。



例



お祭りへの寄附や差入れ



地域の行事等への飲食物の差入れ



地区の集会や旅行などへの寸志や飲食物の差入れ



落成式や開店祝、葬儀の花輪、供花



病見舞い



お中元やお歳暮



入学祝や卒業祝



秘書等が代理で出席する場合の結婚祝、葬式の香典

新型コロナウイルス感染症防止対策等に関する要望書を提出

市議会では10月7日、米田市長へ新型コロナウイルス感染症防止対策等に関する要望を行いました。要望書の主な項目は下記のとおりです。

- 介護福祉従事者へのインフルエンザ予防接種について、無償化を図ること。
- 新型コロナウイルス感染症による市内経済への影響が長期に及ぶことから、市内企業・事業者の実情を早急に直接調査し、売上高の減少が50%未満の企業・事業者へも適切な対応を図ること。
- インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症は、ともに症状が似ていることから、市民が病院など医療機関を受診する方法や手順等の周知を徹底すること。



このほかに、医療・福祉について、デジタル社会の推進についてなどの5項目も要望しました。要望書の内容は、市議会ホームページでご覧いただけます。

12月市議会定例会の会期及び日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
12/6	7 本会議 初日	8	9	10 議会運営 委員会	11 本会議 一般質問	12
13	14 本会議 一般質問			15	16 市民厚生 常任委員会	17
18	19 総務文教 常任委員会		20	21	22	23
24	25 建設産業 常任委員会	26	27 議会運営 委員会	28 本会議 最終日	29	30

- 本会議は6階議場、委員会は6階第二委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議(議場)の傍聴席入口は7階です。庁舎東側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクを着用し、他の傍聴者と間隔を空けてお座りください。

※12月定例会で議題とする請願・陳情は、11月27日(金)までに提出されたものになります。詳しくはお問合せください。

市議会をホームページでご覧いただけます。



市議会ホームページで、本会議の生中継映像、録画映像と、予算審査特別委員会の録画映像の配信を行っています。



市議会ホームページは、「糸魚川市議会」で検索いただくか、右のQRコードをスマートフォン等で読み取るとご覧いただけます。

